令和８年度 文京区立礫川小学校 授業改善推進プラン〈１年生〉

	現状分析	具体的な授業改善策
国語	・自分の経験したことを書くことはできる。文章の中で助詞「へ」「を」「は」を正しく使うこと、句読点を適切に使うこと、順序に沿って簡単な構成で書くことができるようにしていく。 ・話を聞いてはいるが、内容を把握していない児童が見られる。	・日記や感想文、相手意識をもった説明文等を継続して書かせることで、書く意欲をもたせると共に、文を書く経験を増やす。 ・聞き返しや「ききかたあいうえお」等により、相手の話の内容に注目するよう促す。 ・登場人物の気持ちや行動にサイドラインを引いたり、想像を広げて吹き出しや手紙を書いたりして、読みを深める活動を設定する。
算数	・たし算やひき算の計算は、おおよそ定着しているが、たし算かひき算かを判断して、立式して解く問題では、問題文の理解が不十分で、誤答する児童が散見される。 ・答えの助数詞を理解できていない児童や問題を正確に読まず、自分の考えで書く児童が数名いる。	・絵や図、言葉などを用いて様々な考え方ができるようにノート指導をする。 ・問題文をよく読み、何を聞かれているのかが理解できるよう、必要箇所に色別の線を引かせるなどの工夫を取り入れる。 ・「説明の流れ」の指導を行い、自分の考え方を友達に分かりやすく説明できるようにする。 ・視覚的にも理解しやすくなるよう具体物を操作する活動などを取り入れる。
生活	・観察や活動体験について、自分なりに表現することができた。 ・試行錯誤のある単元構成を計画していく必要がある。	・単元の中で試行錯誤させる場面を意図的に入れていく。
音楽	・歌に合わせて体を動かしたり、リズムパターンを聴き取り、拍に乗って打楽器を打ったりすることができている。 ・鍵盤ハーモニカは、ドの位置を覚え、伴奏に合わせて演奏を楽しんだ。 ・学習規律を守って進んで学習に取り組むことに関しては課題があり、個別に支援する必要がある。	・曲の大まかな感じを捉えて歌ったり、強弱に気を付けて楽器を演奏したりするようにする。 ・鍵盤ハーモニカは、タンギング、運指等を丁寧に継続的に指導する。 ・教職員間で連携を図り、一人一人に細やかな支援ができるようにする。

図画工作	・表現活動では、つくりながら考えたり、様々な方法を試したりする様子が見られる。 ・手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫することに課題がある。	・感覚や気持ちを生かしながら制作することに加えて、手や体全体を働かせて、表し方を工夫することで、より創造的に表現できるようにする。 ・様々な素材に触れることで、素材を扱う楽しさや面白さを味わえるようにし、表現への関心や意欲をもてるようにする。 ・友達の作品や活動の良さに気付けるよう、自然と相互鑑賞を行えるような学習形態を工夫する。
体育	・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かすことができた。 ・誰とでも仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることに課題がある。	・学習カードなどを用いて、できたことやがんばったことを視覚化し、称賛することを通して、より運動の楽しさを感じられるようにする。 ・友達と楽しく運動することが苦手な児童には、友達と関わり合う場面を設定し、教え合ったり認め合ったりする活動を通して、達成感や充実感を味わえるようにする。
道徳	・道徳的価値について考え、自分なりの意見を発表できている。 ・授業の中での発言やワークシート等で表した内容を、日常生活での実践に結び付けていくことに課題がある。	・道徳で学習した道徳的価値や考えを実際の生活の場面でも生かせるように、授業中だけでなく、日常とのつながりをもたせた指導を工夫する。